

## 一般演題3 O3-6

## 高気圧酸素治療中に振盪を加えて左心室内の気泡を除去した空気塞栓症の1例

陣上直人<sup>1) 2)</sup> 新田孝幸<sup>2)</sup> 石黒義孝<sup>1)</sup>高谷悠大<sup>1)</sup> 柚木知之<sup>1)</sup> 大鶴 繁<sup>1) 2)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科

2) 京都大学医学部附属病院 高圧酸素治療室

## 【はじめに】

空気塞栓症に対して高気圧酸素治療 (HBO) が実施されるが、巨大な気泡が体内残存する場合には除去が困難な場合がある。標準的なHBOでは左心室内の気泡が除去されず、追加で実施したHBO中に体位交換と振盪により気泡を末梢に誘導して治療した症例を報告する。

## 【症例】

70代男性、既往歴に拡張型心筋症による慢性心不全があり両室ペースメーカー機能付き植込み型除細動器植込み術後。持続性心房細動に対する冷凍アブレーションを施行した直後に左片麻痺、右共同偏視、左半側空間無視が出現した。CTで右大脳半球と左心室内に気泡を認めた。脳MRIで右大脳半球に急性期脳梗塞所見を認め、空気塞栓症と診断された。HBO目的で当院紹介搬送された。US Navy Treatment Table 6 (USN TT6) に従い第2種装置で高気圧酸素療法を実施した。翌日のCTでは頭蓋内の気泡は消失していたが、左心室内の気泡は縮小するも残存していたため、US Navy Treatment Table 5 (USN TT5) で追加治療を実施し、治療装置内で軽度頭位挙上をした後に右側臥位で1分間振盪を加えた。その翌々日のCTで左心室内の気泡の消失を確認し、リハビリテーションが開始された。

## 【考察】

HBOによっても除去できなかった心臓内の気泡に対して、心臓と大動脈の解剖を考慮して体位変換し、振盪により気泡を除去できた。頭位挙上の角度を軽度にする事で、気泡を上行大動脈前壁に誘導し、頸動脈への移動を避けるように体位交換した。仮に頭蓋内に気泡が流入したとしても高気圧環境下であれば末梢へ流れ消失すると思われたため実施した。外科的に

体内の気泡を除去するのは侵襲的であり、本手法により低侵襲的に気泡を除去し空気塞栓症の増大を阻止できた。

